

特殊詐欺の発生状況（平成28年2月末） 県内で息子を名乗る不審電話が連続発生！

1 特殊詐欺認知状況

平成28年2月末現在、長崎県内における振り込め詐欺などの特殊詐欺は、
被害件数 20件（前年同期比+4件）
被害総額 約1,600万円（前年同期比-約2,600万円）
に上り、被害者の年齢別では、**60歳以上が8割**を占めています。

2 県内の特殊詐欺の発生状況（平成28年2月末）

平成28年2月末現在、特殊詐欺の被害は、
○ 百貨店等を名乗る手口の被害増加
被害件数6件（前年同期比+5件）
○ 医療費の還付金等名目の被害増加
被害件数7件（前年同期比+4件）
といった特徴があります。
また、2月中は息子を名乗る不審電話が県内で相次ぎ、県警が把握しているだけでも**30件以上の不審電話**がかかってきています。
今後も犯人側から電話がかかってくるおそれがあり、十分注意が必要です。



- ・インフルエンザにかかっている高熱がある。
- ・携帯の電話番号が変わった。
- ・会社から実家に電話があるかもしれない。

3 被害者の年齢・性別構成

	平成28年2月中		
	男性	女性	計
～ 19	1	-	1
20 ～ 29	-	1	1
30 ～ 39	-	-	-
40 ～ 49	-	1	1
50 ～ 59	1	-	1
60 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	-	5	5
80 ～ 89	1	8	9
90 ～	-	-	-
合計	4	16	20

4 特殊詐欺全体の被害金交付形態

	平成28年 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	12
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	2
キャッシュカード受取型	4
合計	20

※年齢別では65歳以上が80%を占めています。

※ATM等で現金を振り込ませる手口に要注意！！